

科目名称	医療安全論
授業コード	BK268
英語名称	Medical Safety
学期	2024年度後期
単位	1.0
担当教員	大釜 信政, 今野 友美
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	医療安全における看護職の責務と役割について理解を深める。医療事故発生のメカニズムと防止対策、看護における安全対策、看護学生の実習と安全について学ぶ。
科目に関連する実務経験と授業への活用	看護師として病院での勤務経験をもちメディカルリスクマネージャーでもある教員が、医療安全について講義する。さらに、現役弁護士である教員が、予防接種によってB型肝炎に感染させられた患者の現状を踏まえ、医療提供の在り方や課題について教授する。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 安全な医療を提供するための組織や看護業務の範囲と責任の概要について述べるができる。 2. これまでの医療安全への取り組みの概要について述べるができる。 3. ヒューマンエラーの考え方を活かした事故防止策について述べるができる。 4. 施設内および在宅において、安全な療養環境をチームとして組織的に提供するための看護職の役割について述べるができる。 5. 医療現場に潜む危険性を判断し、危険を回避するための方策について述べるができる。 6. 看護専門職としての倫理観を備え、常に安全を追求する態度の重要性について述べるができる。 7. カリキュラム・ポリシーに掲げる「看護学としての専門知識・技術を学び、論理的思考を修得するため、看護の基本、看護援助の方法、看護の実践、看護の発展科目を配置する。」に基づいて、ディプロマポリシーに掲げる「高度化・複雑化する医療に対応し、看護実践する専門知識・技術を有している。」が実現されるよう、論理的に分析・判断できる力を身につける。 <p>この科目は、専門基礎科目群のひとつである。</p>
計画・内容	<p>第1回：医療安全の重要性と看護の責務（大釜、看護師）</p> <p>第2回：医療安全への取り組みと医療の質の評価：母子領域を中心に（今野、助産師）</p> <p>第3回：事故発生のメカニズムとリスクマネジメント（大釜、看護師）</p> <p>第4回：看護業務に関連する事故と安全対策（大釜、看護師）</p> <p>第5回：予防接種によってB型肝炎に感染させられた患者の現状と今後の医療提供の在り方（武田、弁護士）</p> <p>第6回：看護学生の実習と安全（大釜、看護師）</p> <p>第7回：特定行為実践と医療安全（大釜、看護師）</p> <p>第8回：危険予知訓練の実際（大釜、看護師）</p>
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・講義とグループディスカッションを行なう。 ・事前に提示する課題に取り組んで出席すること。

能動的な学びの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・学生への問いかけをできる限り行う予定なので、積極的な授業態度が期待される。 ・危険予知訓練を取り入れる。
授業時間外の学修	<p>予習：講義の内容を教科書を読んで理解しておくこと。（8時間）</p> <p>復習：配布資料や教科書の内容をまとめる。（8時間）</p>
教科書・参考書	<p>教科書 松下由美子、杉山良子、小林美雪編集：ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践 医療安全 第5版、メディカ出版。</p> <p>参考書 兵藤好美、細川京子：医療安全に生かすKYT、メヂカルフレンド社。</p>
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験100%
課題等に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の発表にはその都度、コメントする。
オフィスアワー	CampusSquare を参照
留意事項	本科目は、臨地実習や看護師として働く際に重要な内容である。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方 Zoomによるオンライン授業と課題学修を組み合わせる。</p> <p>成績評価方法と基準 ・定期試験100%</p>